

元氣がいよろぬ

きちんときいとけはよかつた

といふことばしげしげあり

二の樹は

枝展の大き原木の枝がふれてふちて来た

のたまたまの枝をくわうたといふ

枝の長さ直径三十センチ長さ一米

ぐうい 大きの枝だ

それがあつて来うやんで

多えうれやうい

本も歪きまの寿命がみうた

並段ながりてい月して木が年をとつた

ちんて思やうい

先のことは人ばかりで今も丈夫なうた

見よ、木も同じだ

樹木医を呼んで

対応してと言つていた

人もたていら

知りあいの大工業の人しげう人前だ

七くわうた 四十三歳の印さざかりだ

仕事甲乙

一人で暮らしていつころんびやこと

不毛なも何故なきのかわからずい

あまの午で用心した日を送っていても

わかろ原いこと木なきう

向まなき原の木一番うら

先日の台所の大雨の折心配してぞろろを

したひよつとしてたまふかとあはれ

いつも何木なきのかわかろ原い

之氣かどうか現状を知りた

皆そつて元氣の目を送りた

2022
9/28